

わくわく国際交流

深川国際交流協会 広報誌 Vol. 26 2014. 3

<http://www.fukakoku.sakura.ne>



↑国際ショナルデー
(ゲスト紹介)



↑青少年カナダ交流訪問団壮行会



↑青少年カナダ交流訪問団
(フレーザーバレー日本語学校にて)



↑国際文化交流パーティー
(「ジャグリングパフォーマンス kuro」さんのアトラクション)



↑ハロウィンパーティー
(AET 紹介)



↑介護福祉士研修生への日本語講習
(「スピーチの会」の様子)

広がりを見せる国際交流

深川国際交流協会 会長 小瀧 聡

平成 25 年度も多くの方々の協力を得て、活発の活動を展開することができた。私は、ここ数年間、協会の活動の幅が広がりつつあることに好印象を持っている。

青少年カナダ交流訪問団に関しては、今年の引率者、団員が例年以上に行動的であったこともあり、現地では、予定していた以上の活動を行い多くの貴重な体験することができた。

また、今年は深川市からの公式訪問団がアボツフォードを訪ねたこともあり 11 月 9 日の行われた報告会は合同報告会となり、その分、青少年のカナダ体験を例年より多くの方々に聞いていただいた。

さらに、市内外の国際交流活動にもかかわることができた。

平成 24 年度末から始めた、市内福祉施設で研修を受けながら、日本での介護福祉士資格取得を目指しているフィリピン研修生に対する日本語教育を協会会員の協力のもとに継続している。

また、10 月に北海道を訪れたベトナムからの青年農業指導者 17 人の受け入れに協力した。当初予定にはなかった深川でのホームステイを市内外農業者の協力を得て実現することができた。言葉の障壁でうまく交流できるかが心配された。実際はその点では、まったくと言ってよいほど問題はなかった。ベトナム青年たちとホスト役となった家族の方々はパソコンの翻訳機能を活用して、十分な意思疎通ができた。おかげで、約半月間、北海道内を視察したベトナム青年たちにとり深川が最も心に残る場所となった。また、その青年達とホストファミリーとの間でメールを使っている間に交流が続いていることを知り、心を打たれた。

私は、これからの国際交流協会の活動がそのすそ野を広げ、多くの方々が異文化体験をする機会が増えることに強い期待を持っている。

深川国際交流協会総会

4 月 23 日（火）、プラザホテル板倉にて「深川国際交流協会総会」を開催しました。

総会では、2012 年度事業報告及び決算報告、2012 年度監査報告がなされ、2013 年度事業計画（案）及び予算（案）が承認されました。



International Day (インターナショナルデー)

深川国際交流協会 国際理解部会 副部長 淀野 順子

2013 年 International Day プログラム

- 17:00 AET (英語指導助手) 紹介
テーブル別にチームのネーミング
- 17:20 AET のゲーム
Shark Escape (サメだ! 逃げろ!)
Fashion Show (ファッションショー)
- 17:45 深川国際交流協会 "Team Canada" のゲーム
Indian Game
- 18:10 Break Time (軽食と歓談)
- 18:25 拓殖大学北海道短期大学留学生のゲーム
What animal says "○×□"? (動物の鳴き声クイズ)
- 18:45 Dance Time (ダンスタイム)
- 19:00 終了

6 月 5 日（水）17:00 から、プラザホテル板倉を会場に、国際ソロプチミスト深川と深川国際交流協会の共催による 17 回目のインターナショナルデーを開催しました。

今回はゲストの AET、拓大留学生をはじめとして、小学生、中学生、高校生、一般市民と、幅広い年齢層に参加していただき、にぎやかな会となりました。

はじめは緊張した面持ちの参加者が多く見受けられましたが、AET のゲーム「Shark Escape」では、フラフープの輪の中に入り、サメから食べられない



過去に青少年カナダ交流訪問団として参加した中高学生「Team Canada」による「Indian Game」は、回答者の頭に示された言葉をチームメイトのヒントで当てるゲームです。つい、答えをヒントとして言ってしまったり、ジェスチャーをしてしまう人が続出し、白熱したゲームとなりました。

「What animal says“○×□?”」で、思いもよらない鳴き声の表し方に文化の違いや面白さを感じたり、

「Dance Time」で音楽に合わせて体を動かしたりと、ゲームなどを通じて国籍や言葉の違いを超え、楽しく有意義な時間にできたように思います。

ように身を守ろうと体を動かすことで、参加者同士が触れ合い、緊張がほぐれました。

続いて行われた「Fashion Show」は、チームごとに各国の民族衣装などを新聞紙で製作し、その出来栄を競うゲームです。短い時間にもかかわらず、新聞紙でつくったとは思えないほど完成度の高い衣装をつくるチームが続出！会場は感嘆の声にあふれ、一体感がうまれました。



2013 青少年カナダ交流訪問団派遣

2013年7月29日から8月13日の行程で青少年海外派遣事業（青少年カナダ交流訪問団派遣）を実施しました。青少年カナダ交流訪問団のカナダの感想など詳細は、「青少年カナダ交流訪問団報告書」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。（市や協会のホームページでご覧いただけます。 深川市 青少年カナダ で検索してください。）

★日程・メンバー紹介

月日	主な研修・活動内容
7.29	▪ 深川出発～バンクーバー国際空港へ
7.30	▪ 歓迎昼食会、英語の授業
7.31	▪ 英語の授業、ホワイトロック散策
8.1	▪ 英語の授業、プール&ランチ
8.2	▪ ヴィクトリア視察
8.3	▪ ホストファミリーと過ごす
8.4	▪ ホストファミリーと過ごす
8.5	▪ ホストファミリーと過ごす 祝日（市民の日）
8.6	▪ 英語の授業、市役所訪問
8.7	▪ グランビルアイランド、ロブソンストリート、スタンレーパーク散策
8.8	▪ 英語の授業、フレイザーバレー日本語学校訪問
8.9	▪ 英語の授業、ボウリング、送別会
8.10	▪ アボツフォード航空ショー鑑賞
8.11	▪ ホストファミリーと過ごす
8.12	▪ バンクーバー国際空港出発
8.13	▪ 帰国～深川へ



【写真の左から】

岡 美登樹 さん（音江中学校1年）
 平野 愛翔 さん（深川西高等学校1年）
 高田 一成 さん（深川西高等学校2年）リーダー
 渡辺 未来 さん（深川中学校3年）
 林 優紀子 さん（旭川北高等学校2年）サブリーダー
 ブルース・バンマン アボツフォード市長
 佐藤 志代 さん（団長・引率者）

ハロウィンパーティー

深川国際交流協会 派遣・受入交流部会 部長 横田 育子

★プログラム★

≪10月26日≫

- 13:30 オープニング
- 13:50 アイスブレイク (ジャンケンゲーム)
- 14:30 AETによる「ハロウィンってな〜に?」
- 15:15 ハロウィンの飾りづくり
- 17:15 夕食
- 18:00 ハロウィンの衣装づくり
- 20:00 入浴・自由時間
- 22:00 消灯

≪10月27日≫

- 6:30 起床・朝のつどい・朝食・部屋の点検など
- 9:00 パーティーの準備
(顔にペイント、衣装に着替える)
- 10:00 AETのゲーム
(モンスターエスケープ、ゴーストレース)
- 10:35 トリック or トリート
- 11:30 フィナーレ
- 12:00 終了・解散

子どもたちが生の英語に触れながら1泊2日を青年の家で過ごす、青年の家との共催事業を今回も行うことができました。

今回はハロウィンをテーマにした事業となり、10月26日(土)~27日(日)にかけて27名の市内・市外の小学生が参加してくれました。

子どもたちは3名のAETの方々や青年の家の皆さん、ボランティアスタッフの皆さんとハロウィンについて学んだり、ハロウィンの飾りつけやバンパイア・魔女・カボチャの衣装をつくったりして、パーティーの準備をし、翌日 自分たちがつくった衣装をまもって「トリック or トリート」などのゲームをして楽しみました。

約半数が低・中学年で、衣装づくりなどで苦戦した様子も少しありましたが、やはり子どもは柔軟で、ゲームとなればすぐに理解し

楽しんでいました。

今回も人数に限りがありましたので、応募者全員が参加することはできませんでしたが、子どもたちが英語を交えて外国の文化に触れたり学んだりしたいと思っているという事は嬉しいことですし、今後、子どもたちの未来への飛躍のきっかけになればと期待します。



青少年カナダ交流訪問団報告会

7月29日から8月13日の2週間、青少年カナダ交流訪問団に参加した中高生5名の報告会を行いました。

今年は深川市の公式訪問が行われたことから、深川市公式訪問団の報告会と併せて「アボツフォード市訪問報告会」として開催、「国際文化交流パーティー」とともに11月9日プラザホテル板倉で行われ、市議会議員や団員の保護者、学校関係者など約80名が出席しました。



報告会では、会場の大型スクリーンにアボツフォード市滞在中の写真が次々に映し出される中、団員から研修日ごとに印象深かったことや研修全体の感想が延べられ、次に、引率者(佐藤志代さん)から、団員一人一人について、カナダでの活動などの感想が延べられました

最後に、事前研修で作成し、深川市やアボツフォード市のみなさんのメッセージが書かれた「団旗」を披露し、お礼の言葉を述べて報告会が終了しました。



青少年カナダ交流訪問団のカナダの感想など詳細は、「青少年カナダ交流訪問団報告書」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。(市や協会のホームページでご覧いただけます。 [深川市 青少年カナダ](#) で検索してください。)

国際文化交流パーティー

深川国際交流協会 国際理解部会 轡田 淑子

今年のプログラムは、深川市よりアボツフォード市を公式訪問された団員の報告会と青少年カナダ交流訪問団の報告会を併せて行う事となりました。毎年、午前中から開催していた事業ですが、午前中に別の事業も入っている事から、部会議で内容を検討しました。こんな作業も会員の結束につながる大切な時間だと感じています。

当日は、アボツフォード市訪問報告会から始まり、青少年カナダ交流訪問団員からそれぞれ報告がありました。午後からということもあり、ブッフェ形式の昼食からティータイム形式をとりましたが、数々のケーキを目にされた皆さんの顔がほころんでいたのが印象的で会話もおおいにはずみしました。

いよいよアトラクションの始まりです。今回のアトラクションは芸王（げいわん）グランプリの全国大会 2007年チャンピオンの「ジャグリングパフォーマンス kuro」さんをお招きしました。



技もさることながら、会場にいる私達（小学生・中学生・高校生・留学生・大人など）をそれぞれ引き込みながらショーに参加させ、会場にいるみんなの心をいつの間にか一体化させてしまう大技の持ち主でした。

会場の雰囲気盛り上がったところで、拓大留学生のお国言葉（中国・香港・ベトナム・台湾／カナダ）での「国際ジャンケン大会」は楽しい一時でした。

アボツフォード市訪問の報告会が加わったことで、参加者の幅が又広がりました。

小さな積み重ねの中で市民の皆さんに国際交流協会を知っていただき、身近に感じていただけるよう今後も工夫しながら継続していきたいと思いをあらたにしています。

介護福祉士研修生への日本語講習

深川国際交流協会 副会長 上垣 由紀子

介護福祉士の資格取得をめざし、フィリピンから3人の研修生が第一病院とエーデルワイスで研修をしています。国際交流協会では会員有志が交代で日本語講習に協力しています。

講習は週1回90分ですが、3人とも礼儀正しく学ぶことに意欲的なので、毎回あっという間に楽しく時間が過ぎます。グレイスさんは明るく利発な女性、マーク君は積極的な行動派、ジョバンニ君はちょっとシャイな真面目な好青年です。授業は日本文化や社会事情に話が及ぶこともありますが、最近は文法を中心に言葉の幅を広げるような意味の違いやニュアンスを理解する学習を続けています。

1月に「スピーチの会」を催しました。その場で与えられたテーマを即興で話すという緊張を伴うものでしたが、3人とも日本、フィリピンの季節・生活・文化等のテーマに沿ってスピーチをし、質問にも見事に答えてくれました。「日本の好きな季節は秋、夏は暑くて大変です。」とすっかり日本の気候にも体が馴染んできたようです。

先週の講習の時に「患者さんに『めんこいね』と言われましたが、どういう意味ですか。」と聞かれました。介護を通して患者さんにかわいがられ、信頼を寄せられている仕事振りが読みとれました。「患者さんに喜んでもらえた時が一番嬉しく、研修生としてやりがいを感じる。」と話す笑顔は輝いて見えました。

町で会うと遠くからでも「こんにちは」と元気に挨拶してくれます。協会のインターナショナルデーや国際文化交流パーティーにも参加してくれています。

日本で頑張っている3人の研修生が、深川に馴染んで、介護福祉士の国家試験に合格できるよう、皆で応援しましょう。



【写真の左から】マークさん、ジョバンニさん、グレイスさん



↑青少年カナダ交流訪問団
(ウェルカムランチの様子)



↑青少年カナダ交流訪問団
(スクールバスの前にて)



↑ハロウィンパーティー
(ハロウィンの飾りづくり)



↑ハロウィンパーティー
(ハロウィンってな〜に?)

?? 深川国際交流協会ってなあに ??

深川国際交流協会では、深川に住む人がさまざまな外国への関心と理解を深めるきっかけづくりを行っています。

おもな活動は、「青少年カナダ交流訪問団」の派遣や、子どもたちを対象とした「インターナショナルデー」（毎年6月頃開催）、国際理解を深めるための「国際文化交流パーティー」（毎年秋に開催）などの交流事業を開催しています。

【事務局】 深川市役所 企画総務部 企画財政課 企画係
Tel 0164-26-2246
Email f-kokusai@fukakoku.sakura.ne.jp
ホームページ <http://www.fukakoku.sakura.ne.jp/>

各事業の参加者募集は、深川市のホームページや「広報ふかがわ」にも随時、掲載しています。



「深川国際交流協会」のマーク

【広報誌発行責任者】 岡 隆史 (総務部会部会長)

【広報誌編集担当】 深川国際交流協会 総務部会